



お役立ち情報



お試し住宅

『買い物』、『遊ぶ場所』、『気候』、『住んでいる人』、など、移住先の疑問は尽きないものです。ぜひ、現地に来て、実際に体感することで、その疑問を解消してください。

中之条町

移住・定住コーディネーターの現地案内付きで体験移住をすることができます。(有料、要事前予約) 場所 P11参照



中之条町地域共創課
☎ 0279-75-8837



東吾妻町

2泊3日で無料のお試し移住ができます。田舎を十分に満喫できる場所にご用意しました。場所 P13参照



東吾妻町企画課
☎ 0279-68-2111 (内線2233)



高山村

移住・定住コーディネーターの現地案内付きで体験移住をすることができます。(有料、要事前予約) 場所 P9参照

高山村地域振興課

☎ 0279-63-2111 (内線26)

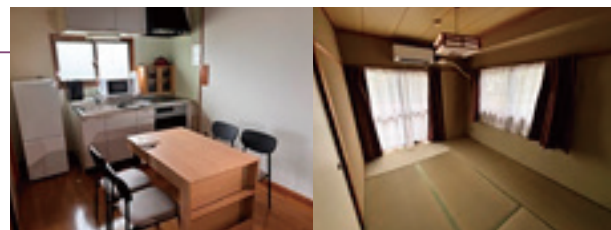


草津町

移住コーディネーターによるフォローを受けながら、家具等備え付けの住宅にて1～6か月の範囲で移住体験ができます。(有料、要申請) 場所P19参照



草津町未来創造課
☎ 0279-88-7193 (直通)



空き家バンク

町内・村内の空き家の有効活用を図るため、空き家情報を広く提供しています。

中之条町

中之条町空き家バンクは、地元不動産事業者と連携し、空き家情報を提供しています。登録件数は少ないですが、今すぐ使える物件となっています。



中之条町防災安全課
☎ 0279-26-7089

長野原町

長野原町の空き家バンク事業は、物件所有者から登録された情報を、町のHPを通じて利用を希望する方に情報提供しています。



長野原町未来ビジョン推進課
☎ 0279-82-2229

嬬恋村

嬬恋村空き家・空き地バンクでは、賃貸・売却希望の物件を登録し、移住・定住・二拠点居住を希望する方に紹介しています。



嬬恋村移住・集落支援室
☎ 0279-82-5191



別荘地（嬬恋村）

Agatsuma Life

移住者 voice

- 高山村 登坂 光義さん・麻衣さん
- 中之条町 枝 拓木さん
- 東吾妻町 山田 剛さん
- 長野原町 安部 真由美さん
- 嬬恋村 奇 博司さん
- 草津町 小池 正明さん



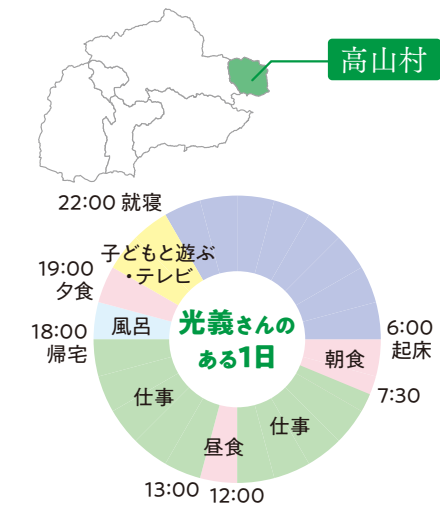
野反湖（中之条町）



登坂 光義さん・麻衣さん

Profile

東京都江戸川区出身。長年、設備工事業を営んだのち、2023年4月、家族とともに高山村へ移住。長男・一心さん、三男・一成さん、四男・一路さん、五男・一輝君、六男・一陽君、長女・一葵ちゃん、麻衣さんの母・尾崎秀子さんの9人家族。



家族で見つけた「帰る場所」

移住前は、東京・江戸川区で設備工事業を営んでいました。でも、心のどこかでずっと「ここじゃない」という感覚があったんです。「東京都の指定工事店になる」という目標を掲げ、懸命に働いてきました。目標を達成したときには大きな達成感がありましたが、その一方で「これから何を目標そう?」という気持ちが芽生えました。ちょうどその頃、子どもたちも進路に悩んでいて、家族で話し合う中で「農業をやってみようか」という選択肢が浮かびました。長男と一緒に農業学校へ通いながら農業を学び、次第に「自然の多い場所で、本気で農業をやりたい」と考えるようになったんです。

移住先を探していく中で、偶然ネットで目にしたのが「高山村」でした。野菜を持った村長の笑顔と、画面越しに見えた深い緑の風景に、「ここ

かもしれない」と直感が働きました。当時、妻は長女の出産を控えていたため、すぐには動けませんでした。落ち着いた頃に家族で訪問。役場や地域の方々がとても親切で、農業体験や空き家の内見など、話がトントン拍子に進みました。

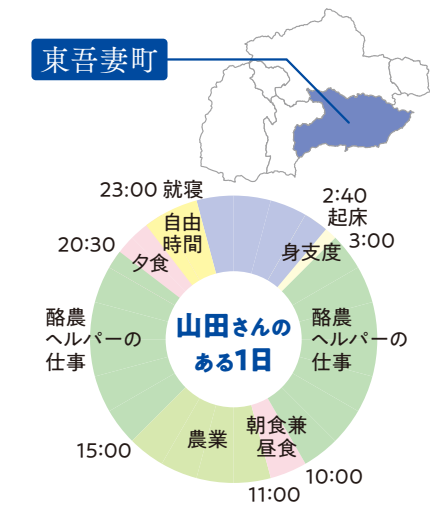
今、長男は地域おこし協力隊を経て農業に携わっています。田んぼを借りて、長男を中心に米作りをしています。三男は給食センターで働いています。四男は、東京で不登校気味でしたが、高山村に来てからは楽しく学校に通うようになりました。高山村での暮らしは、都会の便利さとは違った「豊かさ」にあふれています。自然のリズムに寄り添い、人とのつながりを大切に



山田 剛さん

Profile

群馬県立農林大学校で畜産を学び、北海道や高崎での酪農経験を経て2018年にUターン。地域で唯一の酪農ヘルパーとして12軒の農家を支える傍ら、「ミドリヤマダ」として、じゃがいもや人参などの野菜を栽培。



酪農ヘルパーとミドリのヤマダとして

Uターンの理由は特別なものではなく、高崎での牧場の仕事に区切りがついたタイミングで、地元から酪農ヘルパーの誘いがあり戻ってきました。実家が農家で、いつかは帰ろうと考えていたので、自然な流れでした。農業高校と農林大学校で畜産を学び、北海道や高崎の牧場で働いた経験を経て、2018年から東吾妻町で酪農ヘルパーとして働いています。酪農ヘルパーというのは、乳牛を飼う農家さんの代わりに、搾乳や餌やりを行う仕事です。牛は365日世話してくれる方

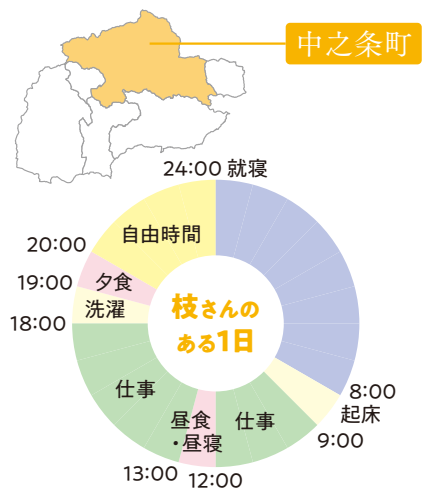
が、その合間に、じゃがいも作りを始め、去年は約2トン



枝 拓未さん

Profile

宇都宮大学在学中に中之条町と出会い、地域おこし協力隊として移住。地域の中



人との出会いが導いた移住と起業

移住のきっかけは、地域おこし協力隊として中之条町にきたことです。ただ、その背景には、今、僕が携わっているNPO法人「中之条コネクト」の前身となる構想がありました。地域の中

協力隊としての活動では、「中之条コネクト」の立ち上げや、農業・教育分野の事業設計に取り組みました。都市部の農業高校生のインターン受け入れ、地元農作物の販売支援、子どもたちの農業体験の企画など、多世代に農業を届ける仕組みづくりに力を入れてきました。現在は、事務局



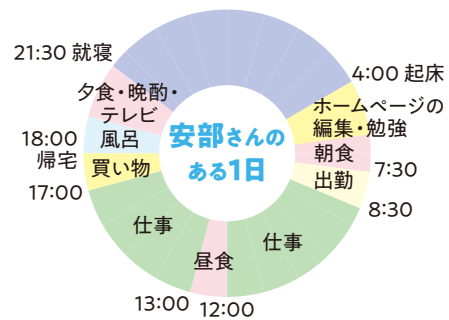


安部 真由美さん

Profile

30年間の警察勤務を経て登山ガイドに転身。現在は浅間山北麓ビジターセンターに勤務する傍ら、公益社団法人日本山岳ガイド協会認定の登山ガイドⅡとして、山岳案内を行っている。畑を借りて野菜づくりにも取り組んでいる。

長野原町

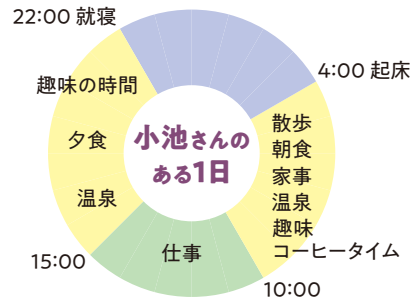


小池 正明さん

Profile

千葉県出身。店長、管理職を経て、長年都内や千葉で多くの飲食店をプロデュース。2020年4月に移住。現在は、町内の飲食店で接客業に就きながら、温泉に浸かる日々と映画鑑賞・音楽・ギター演奏などの趣味を楽しんでいる。

草津町

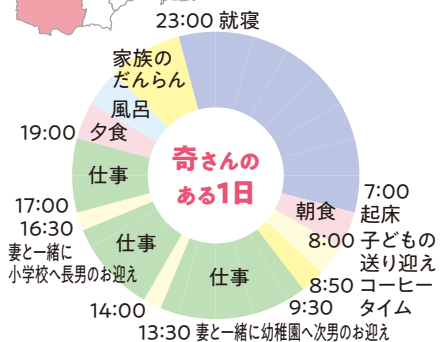


奇 博司さん

Profile

一級建築士。横浜で株式会社かなた建築工房を立ち上げ活動。淡路島を経て2022年、嬬恋村へ家族で移住。現在は、地域の別荘オーナー向けに建築やリノベーション業を展開。妻と二人の子どもと共に、自然と共にある、自分たちらしいペースでの生活を大切にしている。

嬬恋村



空気の良さを求め、嬬恋村へ

嬬恋に移住した一番のきっかけは、長男の喘息でした。もともと横浜市に住んでいましたが、長男が生まれてすぐに喘息がひどくなって、入院するような状態だったんです。空気の良いところに住まないといけないと思い、最初に移住したのが兵庫県の淡路島。淡路島には6年住みました。そこでも2回入院。それを機に、以前、よく遊びに出掛けていた群馬県や長野県で候補地を探すことに。そんな中、見つけたのが、嬬恋村の別荘地内にある今の住まいです。家の前に車がほとんど通らず、空気も静けさも理想的でした。「ここしかない」と感じて移住を決意。移住して1年で、

長男の喘息は完治しました。これが何より大きな喜びで、移住して本当に良かったと思っています。嬬恋の冬は厳しいです。雪が降ると本当に音が消える。動物の気配すらなくなるような、命の気配が遠のく感覚があります。冬の森は、美しい反面、孤独で厳しいんです。それでも、春が来ると一気に世界が動き出す。別荘地に人が戻ってきて、車がすれ違い始める。そんな季節の移ろいを全身で感じる生活に、今ではすっかり馴染んでいます。自然って、言葉で「いいよ」と言ってもなかなか伝わらないと思います。だからこそ、ここに来て自然を全身で感じてほしいです。我が家の周りには、街灯がひとつもありません。夜は真っ暗になるのですが、ウッドデッキに出て、テーブルにロウソクをひとつ置いて飲むワインが最高の贅沢です。今は、ネットで欲しい物は何でも届くし、不便はほとんどありません。100均のロウソクと500円のワインで得られる幸せ。自然の中での暮らしは、豊かさの定義を変えてくれました。

